

名古屋大学大学院医学系研究科 「トータルヘルスプランナー養成コース(THP コース)」
～少子高齢社会を包括的に支える健康増進モデルを開発・推進する人材育成～
に講師として参加しました。

1 「トータルヘルスプランナー養成コース(THP コース)」とは

現代社会の医療ニーズは多種多様になり、特定の医療施設のみならず家庭や地域社会における生活に根ざした包括的な医療福祉サービスの提供が求められています。少子高齢社会が急激に進む中、このような社会の変化に対応し、生涯にわたる健康づくりの知識・技術の修得や科学的評価に関する教育は必ずしも十分に行われていません。このような背景から、名古屋大学ではライフトピア構想として、愛知県、民間企業等との連携体制のもと、高齢社会に適応した新しい価値の創造に取り組んでいます。その一環として、保健学科では少子高齢社会を包括的に支える人材育成を目指し、平成19年4月より専攻、研究科、大学の枠を超えて、研究と有機的つながりをもつ教育プログラムとして、トータルヘルスプランナー養成コース(THP コース)を開講しています。 ※愛知県は「地域保健医療福祉行政の動向」について、講師を派遣しています。

2 当日の様子

○日 時：平成23年8月6日(土) ○場 所：名古屋大学保健学科 本館1階 THPセミナー室

○参加者 15名

○内 容 「地域保健医療福祉行政の動向」

(1) 「介護保険・介護予防について」

(財)愛知県健康づくり振興事業団あいち介護予防支援センター：木戸美代子)

(2) 「特定健診・特定保健指導について」(愛知県健康福祉部健康担当局健康対策課：戸田輝子)

(3) 「高齢者医療政策について」(愛知県健康福祉部医療福祉計画課：水野春美)

①名大でTHPコースを担当している榎原教授のあいさつです。 ②講義の様子です。木戸講師、戸田講師、水野講師の順に行いました。



③講義後、学生からの質問や意見交換がありました。



参加者から講義の感想について、数多くの意見が寄せられました。参加している方の多くは、実際に医療機関や施設で働いており、普段から問題意識を持ち、少しでも地域をよくしていきたいという思いが伝わってきました。

今後も、行政として、継続してこのような取り組みに参加することで、将来、医療機関や施設などの現場で働く方々や地域の方々と連携し、少子高齢社会に対応したみんなが住みやすい地域づくりにつながれば考えております。